

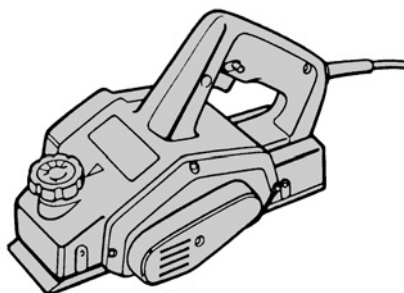
日立かなな

FP 20SA2

このたびは日立家庭用かななをお買い上げいただき、ありがとうございました。

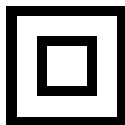
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁

切削幅 82 mm



目次	ページ
電動工具の安全上のご注意	1 ~ 4
● 二重絶縁について	
かななの使用上のご注意	5・6
各部の名称	7
● 付属品	
用途	8
ご使用前の準備	8
ご使用前の点検	9
使いかた	10・11
かなな刃のはずしかた	12
かなな刃の取り付けかた	13・14
かなな刃の研ぎ出しについて	15
点検、手入れについて	16
仕様	17
アフターサービスについて	18~

⚠警告、⚠注意、注の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「注」の意味も説明します。

⚠警告： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注： 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警 告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

警 告

- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

…電動工具の安全上のご注意

警告

- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口に依頼してください。
 - 延長(継ぎ)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った延長(継ぎ)コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長(継ぎ)コードを使用してください。
- ⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。

警告

- ⑳ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にご相談ください。
- スイッチが故障した場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にご相談ください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

■二重絶縁について

電気の流れる所と本体との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めのканなは二重絶縁をしてあり、銘板に回マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にご用命ください。

かんなの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、かんなとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

①



- ② 使用中は、本体を確実に保持してください。

確実に保持していないと、けがの原因になります。

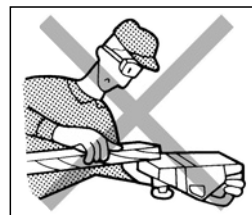
- ③ 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。

台が不安定ですと、けがの原因になります。

- ④ 材料を手にとっての切削はしないでください。

かんな刃に触れ、けがの原因になります。

④ ⑤



- ⑤ 本体を万力などで保持して、かんな刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。

かんな刃に手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。

- ⑥ 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。

回転しているかんな刃に触れ、けがの原因になります。

⑥



- ⑦ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、点検・修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口に依頼してください。

そのまま使用していると、けがの原因になります。

- ⑧ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

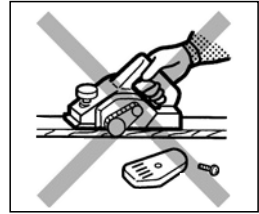
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注 意

- ① かな刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。

①



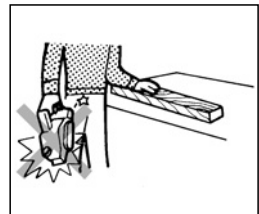
- ② かな刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。

不用意に扱うと、切り傷の原因になります。

- ③ 使用中は、本体の底面に手など身体を近づけないでください。

かな刃に触れ、けがの原因になります。

③ ⑤



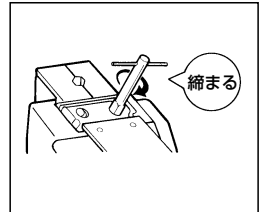
- ④ かな刃の交換や刃高調整後は、かな刃取付ボルトを十分に締め付けてください。

ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。

- ⑤ スイッチを切った後も、惰性で回転しているかな刃に注意してください。

手などが触れると、けがの原因になります。

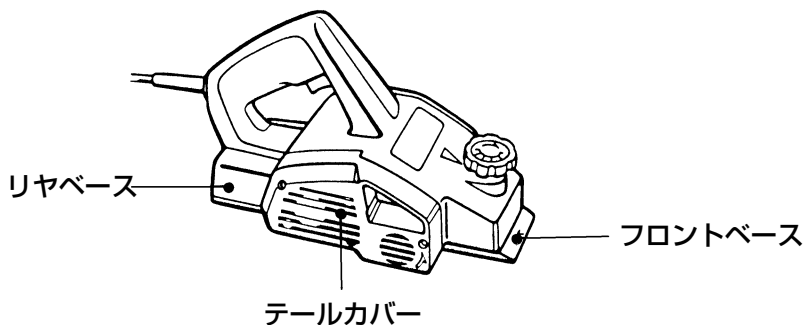
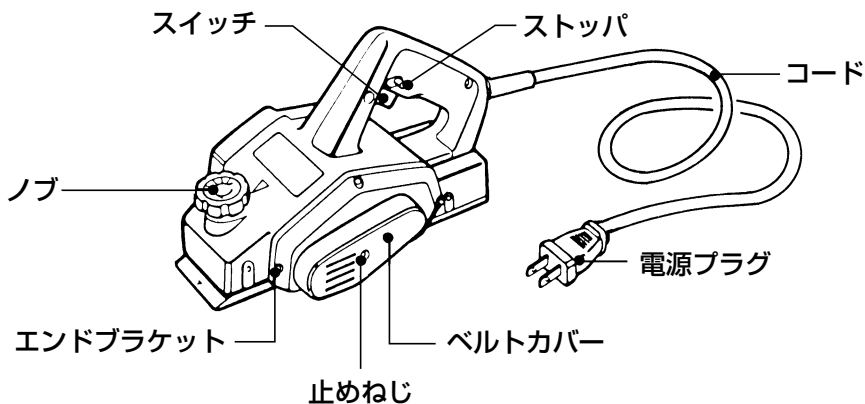
④



- ⑥ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。

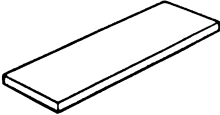
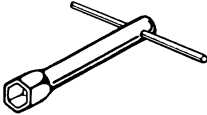
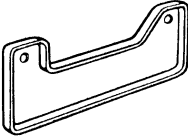
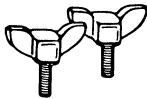
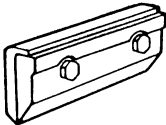
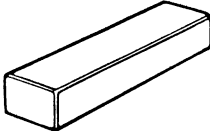
けがの原因になります。

各部の名称



形状などの一部を変更している場合があります。

付属品

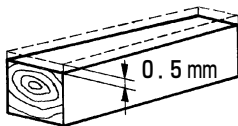
定規 	1個	スパナ 	1個	ガイド 	1個
ちょうボルト 	2個	刃研ぎ保持具 	1組	といし 	1個

用途

木材のかんな削り

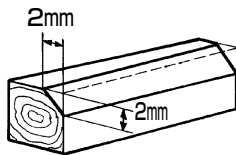
● 平削り

1回削るときの最大切り込み
深さです。



● 面取り

フロントベースの溝を使って
最大で2mmまで削れます。



ご使用前の準備

作業場は整頓をし、明るくしてお使いください。

● 漏電しゃ断器の設置をおすすめします

二重絶縁構造製品は法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

● 作業台を用意します

しっかりした木製の作業台をご用意ください。作業中にぐらつくと危険です。

● 延長(継ぎ)コードを用意します



警告

- 延長(継ぎ)コードは損傷のないものをご用意してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ
短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ(導体公称
断面積)と、最大の長さです。

コードの太さ mm ²	最大の長さ m
0.75	20
1.25	30
2	50

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。

ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

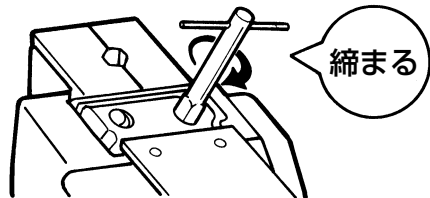
ご使用前の点検

⚠ 警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～3項について、電源プラグをコンセントに差し込む前に確認してください。

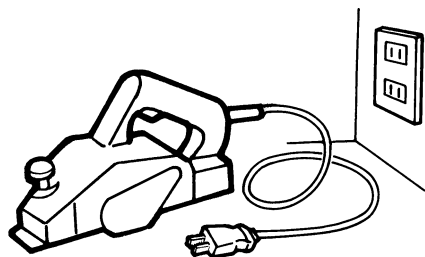
1 かな刃を締めつけます

ボルトは締めつけてありますが念のため電源プラグをコンセントに差し込む前にスパナでもう一度締めつけてください。



2 スイッチが切れていることを確かめる

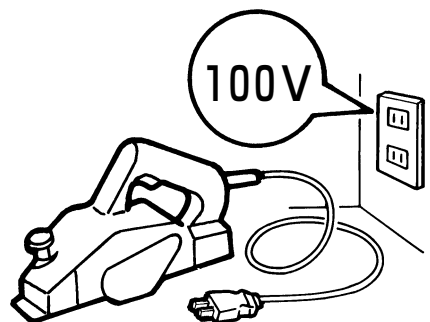
スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントに差し込むと、不意に動き、思わぬけがの原因になります。スイッチは引くと入り、離すと切れます。



3 電源を確かめる

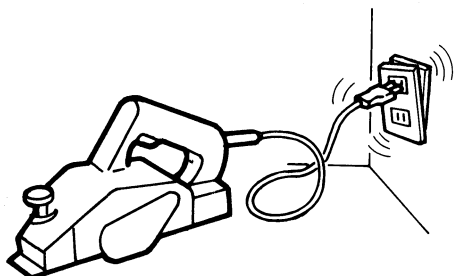
お求めのかなは 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、モーターの回転が異常に高速となり、破損するおそれがあります。

また、直流電源で使用しないでください。かなの損傷をまねくだけでなく危険です。



4 コンセントを確かめる

コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。





⚠ 警告

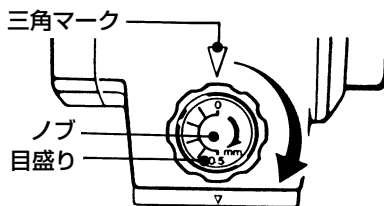
- 使用中に異常音や異常振動など機体の調子に異常を感じたときは直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

準備をします

1 切り込みの深さを調節します

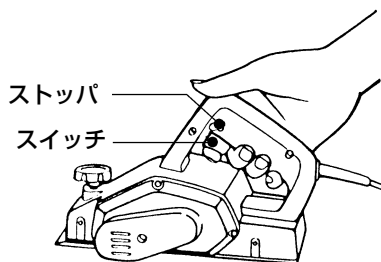
0から0.5 mmまで調節できます。

ノブを矢印の方向に回し、削りたい深さの目盛りを三角マークに合わせます。



2 スイッチを入れます

スイッチをいっぱいに引きます。連続運転は、スイッチをいっぱいに引いた状態で、ストッパを押します。スイッチを切るときは、もう一度スイッチを引きストッパがはずれてから指をはなします。

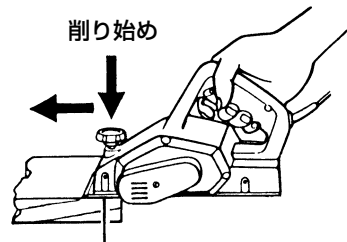


削ります

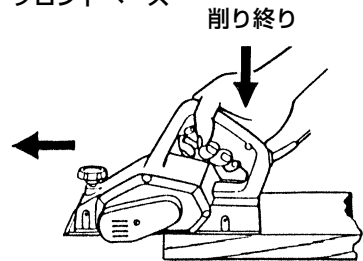
- 注**
- 木材以外の削りには使用しないでください。
 - 削る面は、かな刃をいためないためにあらかじめ釘や異物を取り除いてください。
 - ケヤキなどの硬い材料を削るときは、かな刃の切れ味が極端に悪くなりますので、切り込み深さを0.2mmぐらいにし、ゆっくり動かしてください。また、予備のかな刃を準備してください。

フロントベースを木材の上にのせ、かなを水平に支えます。スイッチを入れそのまま静かに前へ動かします。

削り始めは前方に力を入れ、削り終りは後方に力を入れて、いつもかなを水平に動かしてください。



フロントベース



削り終り

■荒削りと仕上げ削りについて

荒削りは、切り込みを深くすると能率的に削れます。

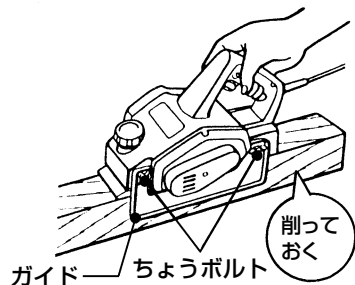
仕上げ削りは、切り込みを浅くし、ゆっくり動かすときれいに削れます。

■直角に削るときは

ガイドを使用すると便利です。

ガイドは2個のちょうボルトで取りつけて、木材の側面に当てて削ります。

このとき、ガイドの当たる面はあらかじめ削っておきます。



かな刃のはずしかた

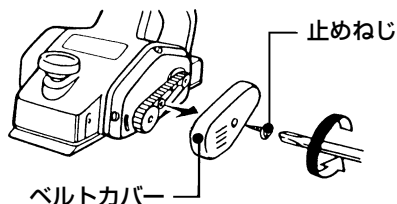
⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

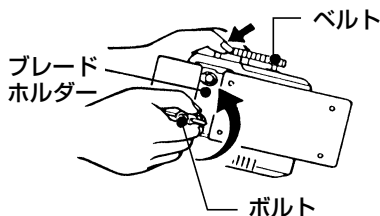
⚠ 注意

- 刃先で指を切らないように注意して行なってください。

- 1** 止めねじをはずし、ベルトカバーを取ります。

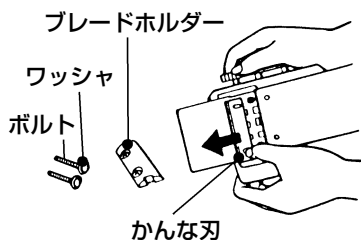


- 2** ベルトを押さえ、スパナで2個のボルトと、ワッシャを抜き取り、ブレードホルダーをはずします。



- 3** 指先でかな刃をはずします。

- 4** ベルトを回し、反対側も同様にしてはずします。



かなな刃の取り付けかた

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

⚠ 注意

- ボルトは十分に締めつけてください。

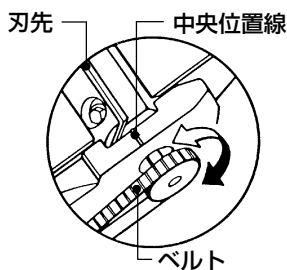
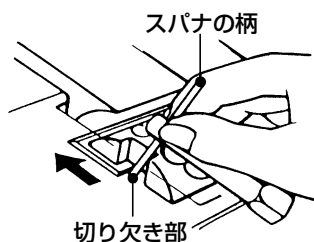
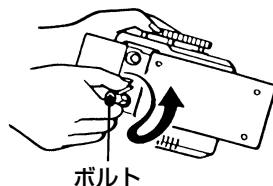
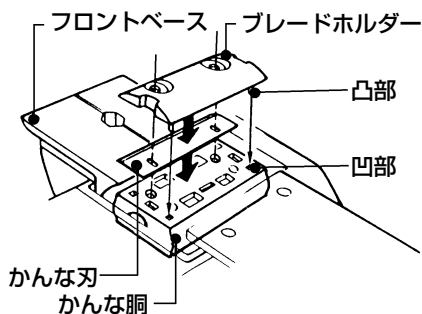
1 刃先をフロントベース側に向けて
かなな胴にのせます。

2 ブレードホルダーの凸部2箇所を
かなな胴の凹部にはめ込みます。

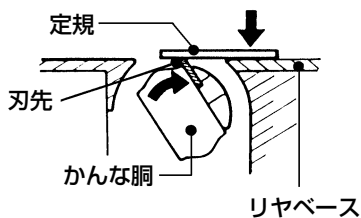
3 2個のボルトとワッシャで、いっ
たん締めつけてから、四分の一
回転ゆるめます。

4 スパナの柄を、ブレードホルダー
の切り欠き部に入れ、かなな刃を
押し出します。

5 刃先をエンドブラケットの中央位
置線に、ベルトを回して合わせま
す。



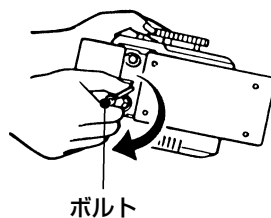
- 6** 定規をリヤベースと刃先に当てリヤベースに密着するまで押しつけます。



- 7** 刃先が定規に軽く接するように、かなな胴をベルトで矢印の方向に回します。かなな刃の両端が、定規に接していることを確認します。

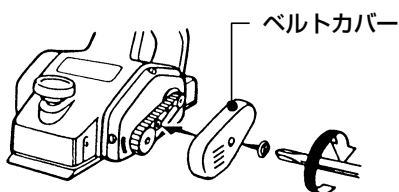
- 8** 2個のボルトを交互に少しずつ締めつけます。

- 注** ・スパナの柄に、パイプなどを差し込んで締めつけないでください。
ねじ山を傷めます。



- 9** 反対側も同様にして、かなな刃を取りつけます。

- 10** ベルトカバーを取りつけます。



かなな刃の研ぎ出しについて

- 注** ・ かなな刃の丈は2枚とも合わせるように研いください。かなな刃の丈が合っていないと振動の原因になります。

かなな刃を研ぐときは保持具を使用します。

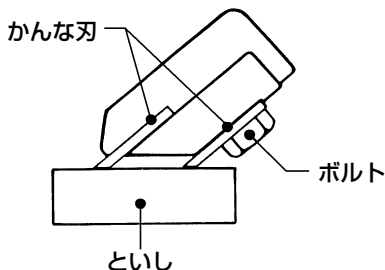
● かなな刃を研ぐ時期

木材の種類、切り込み深さなどで異なりますが、100 mほど削ったら研ぎ直し、いつも切れるようにしてお使いください。



1 刃研ぎ保持具の使いかた

図のようにかなな刃を取りつけて、2枚同時に同じ角度で研ぐことができます。2枚の刃先が同時にといしに当たるように調整して、スパナでボルトを締めつけてください。



2 研ぎかた

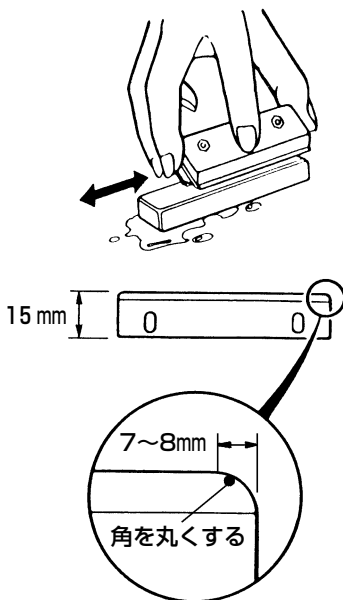
といしを水に十分浸してから、かなな刃を矢印の方向に動かして研ぎます。

● かなな刃の研ぎ代

かなな刃の丈が15 mmになるまで研ぎ直して使えます。

● 幅の広い板を削るとき

かなな刃の両端を丸く研ぐと、目違いが目立ちにくくなります。



点検、手入れについて

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

● かな刃の点検

切れなくなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。かな刃を研ぐか新品と交換してください。交換するときは、2枚のかな刃を同時に行なってください。別々に行なうとバランスが悪くなり、かなの寿命を縮めます。

● 本体はきれいに

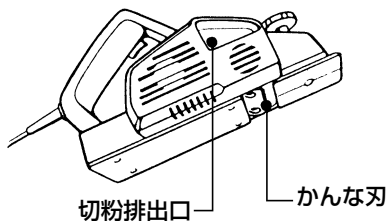
石けん水に浸した布でふいてください。ガソリン、シンナー、灯油は変形の原因になるので使用しないでください。

● 取りつけねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。そのまま使用すると危険です。

● かな刃のまわりをきれいに

使用後は、切粉排出口などについた削りくずを取り除いてください。



■ 保管場所について 次の場所には保管しないでください。

- お子様の手が届いたり、持ち出せる所。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある所。
- 直射日光の当たる所。

仕 様

使 用 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V
切 削 幅	82 mm
最大切り込み深さ	0.5 mm
無 負 荷 回 転 数	15000 min ⁻¹ {15000 回/分}
全 負 荷 電 流	3.4 A
消 費 電 力	320 W
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター
質 量	1.6 kg (コードを除く)
コ ー ド	2心キャブタイヤコード 1.8 m

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。

正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらずお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼ください。

また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

…アフターサービスについて

相談と修理の窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

本製品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようしております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は裏表紙に記載の「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お住まいの地域	窓口の所在地	支店(部)名	電話番号
全 国	港 区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札 幌 市	北 海 道	(011) 896 - 1740
青森、岩手、宮城、秋田、 山形、福島	仙 台 市	東 北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、 東京、千葉、神奈川、 山梨、新潟、長野、 静岡県富士川以東	台 東 区	関 東	(03) 5812 - 6331
岐阜、愛知、三重、 静岡県富士川以西	名古屋市	中 部	(052) 262 - 3811
富山、石川、福井	金 沢 市	北 陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、 奈良、和歌山	西 宮 市	関 西	(0798) 37 - 2665
鳥取、島根、広島、岡山、 山口	広 島 市	中 国	(082) 504 - 8282
徳島、香川、愛媛、高知	高 松 市	四 国	(087) 863 - 6761
福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福 岡 市	九 州	(092) 621 - 5772

